



スウェーデンに伝わる妖精
「トムテ」



砥川用水路の水で潤う青田。左は船野山、右は
飯田山



惣領方面から延びる県道235号沿いに
たたずむ「富田茂七顕彰碑」

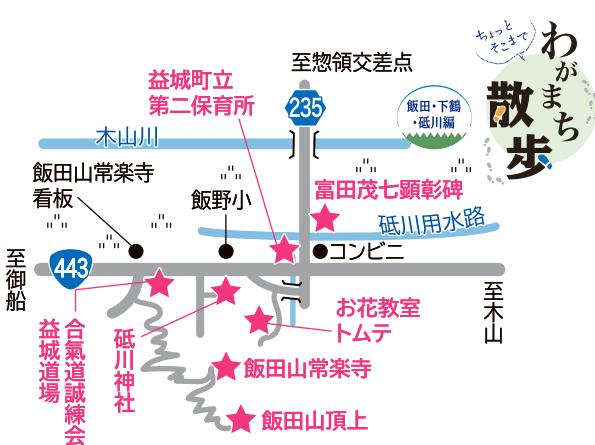


上／「お花は心をなごませ
ます」と話す富田貴子さん
左／富田さんが作った美しいフラワーアレンジメント



坂道の途中にかけられた愛らしい看板
●お花教室トムテ

電話／090-7155-4500(富田)



たこの一帯に、なんとか水を引きた
いと、茂七は私財をなげうつて用水
路の建設に挑みました。工事は何度
も失敗するも、茂七は諦めることな
く用水路を完成させました。

毎年、3月19日に富田茂七の功績
を称える「井手祭」が開催されていま
す。祭りでは以前は「子ども相撲」も
奉納されていました。大正14（192
5）年に建てられた「富田茂七顕彰
碑」の前で神事が行われ、先人の努
力に感謝の思いを捧げます。

下鶴地区で「お花教室トムテ」と
いう、かわいらしい看板を見つけま
した。「トムテはスウェーデンで愛
されている、お家を守ってくれる妖
精です」と主宰者の富田貴子さん
(51)が教えてくれました。

富田さんは自宅の2階で、フラワ
ーアレンジメントの教室を開いて
います。「花のある暮らしは、心を豊
かにします。花材はなるべく町内の
お店で、町の人たちが育てているお
花を使うようにしています」と富田
さん。

レッスンの曜日や時間は、希望に
添ってくれるそうです。穏やかで優
しい人柄の富田さんとの
花時間は、きっと心癒や
されることでしょう。

「暮らしの中にお花を」 富田さんの花教室

散歩の終わりに

昔話の「やまのせいくらべ」
の物語の最後にはこんな話も
伝えられています。背比べに負
けた飯田山に流れた水は、やが
て田畠を潤し豊作をもたらし
たというものです。

富田茂七が私財をなげうつ
て建設した砥川用水路など、
青々と広がる水田を眺めながら、
先人たちの願いや努力が叶
えた風景なのだと、心に染みた
わがまち散歩でした。

今日の出会いに、感謝。